

窓の開けっぱなしに注意



夜になっても気温が下がらず、寝苦しい夜が続いています。

テレビ等では、昼夜とも、クーラーを使った熱中症予防を呼び掛けていますが、エアコンの冷風がどうも苦手で、窓を開けっぱなしで就寝してしまう方はいませんか？

泥棒はカギのかかっていない玄関、窓、ベランダを狙っています。

忍込み(しのびこみ:夜間、就寝時に住宅に侵入する泥棒)事件の多くは、戸締りをしていない場所から屋内に侵入しています。2階の窓でも油断は禁物!!

エアコンの除湿機能や扇風機を上手に使った暑さ対策を行い、しっかり戸締りをお願いします。



子供だけで留守番をさせるときの注意



学校が夏休み期間中は、子供だけで留守番をする機会も多いかと思います。子供たちが安全に留守番するにはどのように行動すれば危険を回避できるか、家庭内でルールを決めるなど、防犯対策を確認しておきましょう。

◇ 誰もいない家に帰ってきたときは、

- ・家の中に誰もいないことを気付かれないよう、ドアの前で長い時間、鍵を探さない。(鍵は取り出しやすいようにしておく。)
- ・鍵を開けて屋内に入る瞬間の隙をみて、不審者が屋内に侵入しないよう、背後の安全を確認してから鍵を開ける。(家の周辺を片付けて死角を作らない。)
- ・家の中に、家族がいるように装うために、大きな声で「ただいまー。」と言いながら家に入り、すぐに鍵をかける。

◇ 留守番中に集金や配達の人が来たときは、

- ・年齢が低い子供は、『絶対にドアを開けない。』を鉄則とし、インターフォン、電話に応答しない。(家族が宅配便等を使う場合は、子供が対応しなくて済む時間帯や受け取り方法を選択する。) また、電話は留守番電話の設定を行う。

〈連絡先〉

茂原市役所 市民部 生活課

Tel 0475-20-1505 (月～金8:30～17:15)

ゼブラ・ストップで事故ストップ！

～ 横断歩道は「歩行者優先」～

8月は「ゼブラ・ストップ活動強化月間」です。

令和5年中、千葉県内での交通事故死亡者数は127人(前年比+3人)で、交差点及び交差点付近での交通死亡事故発生件数は、63件(前年比-2件)で、死亡事故全体の約50%を占めています。また、歩行中の死者54人中37人が道路横断中の事故であり、そのうち20人が横断歩道上及びその付近で事故に遭っています。

車両等運転者も歩行者も交通ルールを守り、正しい交通マナーを実践して、交通事故を防止しましょう。

◇ 歩行者が守る基本的ルール

「横断歩道を渡る、信号機に従う」

◇ 歩行者自らが安全を守る手段

「手を上げる、運転者に顔を向けて横断する意思を明確に伝える」

「安全を確認してから横断を始める」

「横断中も周りに気を付ける」

ゼブラ・ストップとは

歩行者保護をわかりやすくまとめて名称にしたものです。

①「ぜ」前方

前をよく見て安全運転、横断歩道を発見したら、その周りに歩行者等がないか十分注意する。

②「ぶ」ブレーキ

横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいるかも知れない場合は、横断歩道の手前で停止することができるような速度で進行する。

③「ら」ライト

横断歩道でも「3(サン)・ライト」で交通事故防止

☆ 車のライトの早めの点灯、小まめな切り替えで横断者を早期発見

☆ 横断者も反射材等でライトアップ

☆ 右(ライト)からの横断者に注意

④「ストップ」

横断歩道の手前で確実にストップ、交通事故ストップ

